第5章　主な整備構想等（重点プロジェクト）

「主な整備構想等（重点プロジェクト）」は、本計画の期間において重点的に取り組むことで、向日市の価値を高め、課題の解決に寄与すると考えられる事業、取組を位置づけるものです。

近年、桂川・洛西口新市街地の整備に伴い子育て層を中心に転入者が増加し、人口が増加している本市ですが、さらなる定住魅力を求め市外へと転出する人口に変化はないことから、中長期的には人口が減少するとともに、さらなる高齢化の進展が予測されます。

このため、将来的には税収が減少する一方で社会保障費が増大し、必要な公共サービスが提供できなくなるといった負のスパイラルに陥ることが懸念され、将来にわたってまちの持続性を確保していくことが大きな課題となっています。

この課題を解決していくには、定住人口の確保と税収の源となる活力の創出を併せて図っていく必要があります。そのため、本市への定住者を確保するために「暮らす」視点から都市の魅力と安全性・快適性を高めていくプロジェクトと、「創る」視点から都市の活力となる新たな産業や雇用の場の創出につながるプロジェクトを設定します。

「暮らす」視点

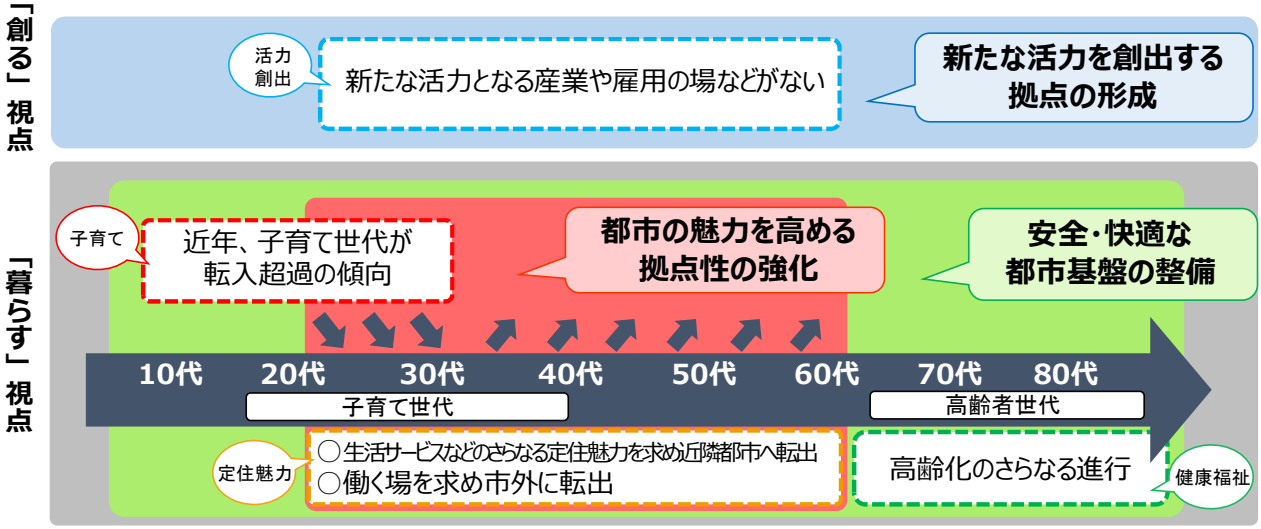
暮らしの魅力を向上させるために、市の顔となる駅周辺の拠点性を強化していくとともに、地域資源の活用に向けた拠点整備などを図ります。

また、子どもからお年寄りまで全ての人々が住み続けたいと思ってもらえる居住環境を提供するために、安全・快適な生活が送れるような都市基盤を形成します。

「創る」視点

住宅が建ち並び、利用できる土地が限られている本市においては、土地利用調整地区などを活用し、都市の活力となる産業や雇用の場など、新たな活力の創出を図ります。

【暮らす・創るイメージ図】



1 都市の魅力を高める拠点性の強化

本市は、京都や大阪といった大都市への交通利便性に優れており、特に、ＪＲ向日町駅と阪急東向日駅は、市の玄関口として交通及び都市機能等の面で中心的な役割を担っている鉄道駅です。これらの鉄道駅周辺を中心に、拠点性やにぎわいを強化することで、都市としての魅力を高めていきます。

また、本市は、様々な歴史・文化資源を有しており、それらを最大限に活用することで、向日市ならではの魅力を高めていきます。

（１）ＪＲ向日町駅周辺整備

ＪＲ向日町駅については、市の玄関口にふさわしい機能の強化・集積を目指し、東西自由通路や駅前広場、アクセス道路等の整備に加え、駅ビル建設など、市街地再開発事業等による駅東口周辺整備を推進します。

【関連する施策・事業等】

○ＪＲ向日町駅周辺整備事業

（２）阪急東向日駅周辺整備

阪急東向日駅周辺は、都市生活を支える商業施設や公共施設が集積しており、市の玄関口としてにぎわいの創出を図っていく必要のある鉄道駅です。駅周辺では、阪急京都線連続立体交差の予備調査を本市が行ったことから、それらの事業とも連携しながら、周辺の基盤整備や拠点性の強化方策について検討を行います。

【関連する施策・事業等】

○阪急東向日駅周辺整備事業

○阪急京都線連続立体交差に向けた可能性の検討

（３）歴史・文化資源の活用・整備

向日市ならではの魅力を高めるため、本市固有の資源である長岡宮跡や古墳群などの歴史・文化資源を、市民や来訪者が知り気軽にふれることができる環境の整備を進めます。

【関連する施策・事業等】

○歴史・文化資源を活用した公園等整備

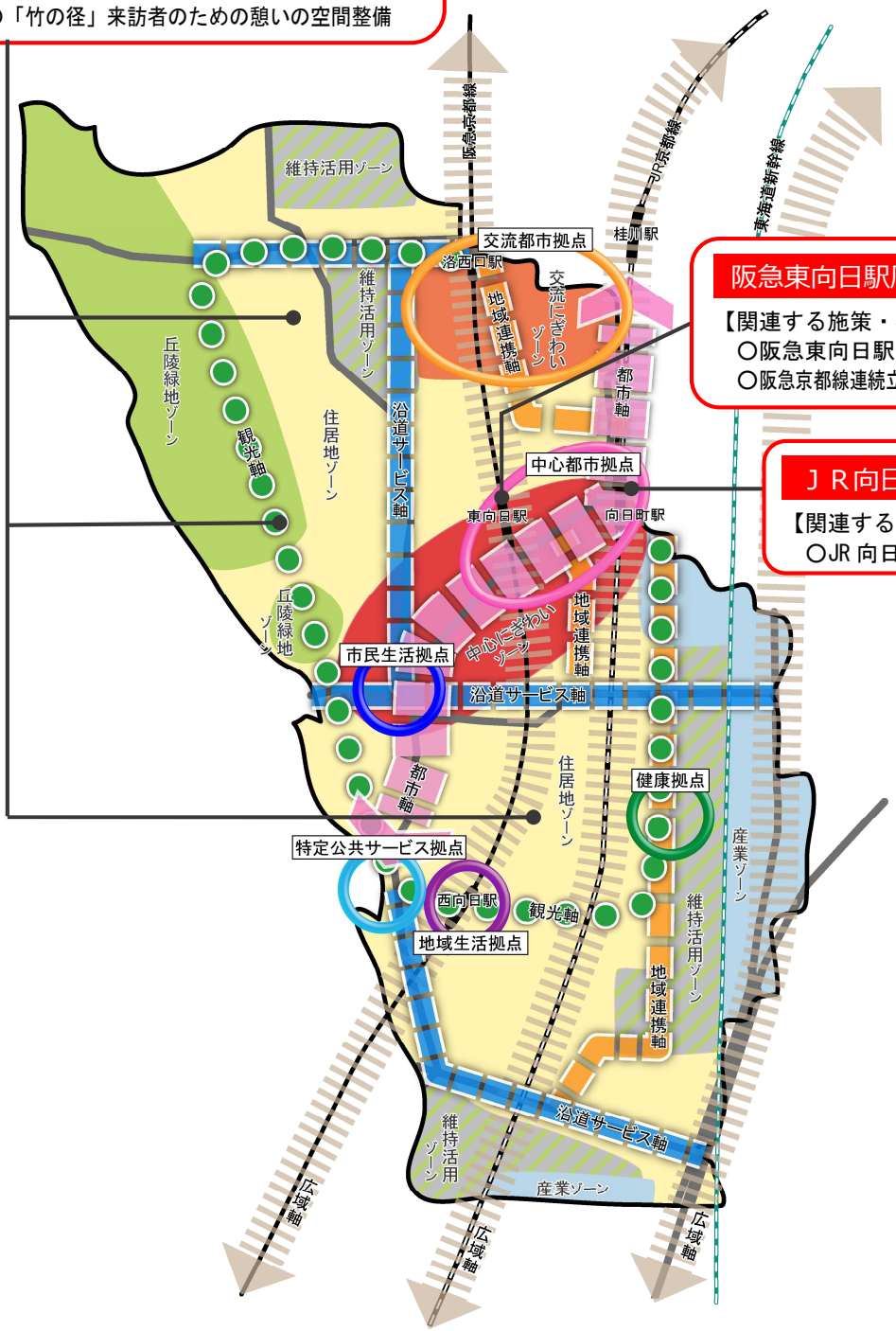
○古民家を活用した拠点の整備

○観光軸における「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備

【関連する施策・事業等の位置図】

歴史･文化資源の活用･整備

【関連する施策・事業等】
- ○歴史・文化資源を活用した公園等整備
- ○古民家を活用した拠点の整備
- ○「竹の径」来訪者のための憩いの空間整備



阪急東向日駅周辺整備

【関連する施策・事業等】
- ○阪急東向日駅周辺整備事業
- ○阪急京都線連続立体交差に向けた可能性の検討

ＪＲ向日町駅周辺整備

【関連する施策・事業等】
- ○JR 向日町駅周辺整備事業

2 安全・快適な都市基盤整備

暮らしの魅力を高めていくには、市民だけでなく、来訪者にとっても安全で快適さを感じる都市基盤を整えていくことが重要となります。交通環境の安全性・快適性を高める都市計画道路の整備や懸念される災害への対策に寄与する施設整備など、重要となる都市基盤の整備を進めます。

（１）都市計画道路の整備

ＪＲ向日町駅へのアクセス道路となる都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線や、本市の重要な南北軸であり災害時の緊急輸送路に指定されている都市計画道路御陵山崎線など、市内の主要な道路交通機能、防災機能等を担う都市計画道路の整備を推進します。

【関連する施策・事業等】

○都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線の整備（京都市境～都市計画道路伏見向日町線）

○都市計画道路御陵山崎線の整備

（２）阪急京都線の立体交差化

市内での踏切事故や渋滞の解消、また、阪急東向日駅周辺の拠点性強化を図り、都市の安全性及び利便性を高めるため、阪急京都線連続立体交差に向けた可能性の調査・検討を推進します。

【関連する施策・事業等】

○阪急京都線連続立体交差に向けた可能性の検討

（３）防災施設の整備

災害に対する都市の安全性を高めるため、京都府桂川右岸流域下水道雨水対策事業（いろは呑龍トンネル）と連携し、効果的に本市の公共下水道雨水対策事業を推進します。

また、災害時における避難待機場所としての機能を備えた多目的グラウンドの整備に向け取組を進めます。

【関連する施策・事業等】

○浸水対策下水道雨水幹線等の整備の促進

○多目的グラウンドの整備

【関連する施策・事業等の位置図】

阪急京都線の立体交差化

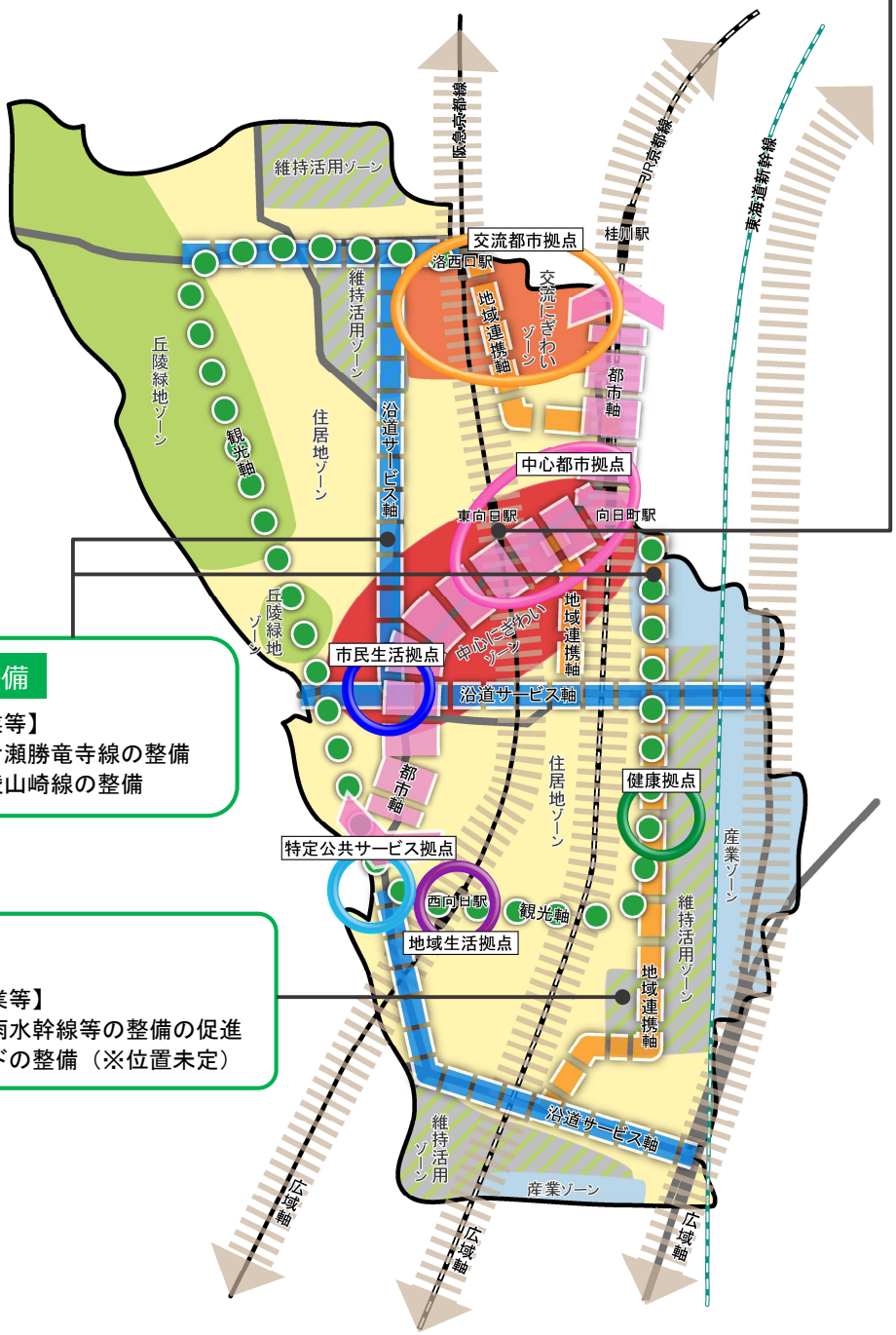
【関連する施策・事業等】
〇阪急京都線連続立体交差に向けた可能性の検討

都市計画道路の整備

【関連する施策・事業等】
〇都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線の整備
〇都市計画道路御陵山崎線の整備

防災施設の整備

【関連する施策・事業等】
〇浸水対策下水道雨水幹線等の整備の促進
〇多目的グラウンドの整備（※位置未定）



3 新たな活力を創出する拠点の形成

税収の源となる産業や雇用の場など、市の新たな活力の創出を図るため、森本東部地区及び阪急洛西口駅西地区における新たなまちづくりを支援し、それぞれの地域にふさわしい産業系土地利用の促進を図ります。

（１）森本東部地区の新たなまちづくり

森本東部地区については、土地区画整理事業による道路、公園緑地などの都市基盤の整備や森本東部地区地区計画による産業施設の立地誘導、営農環境の保全など、計画的なまちづくりを進め新たな産業拠点の形成を図ります。

【関連する施策・事業等】

○森本東部地区土地区画整理事業

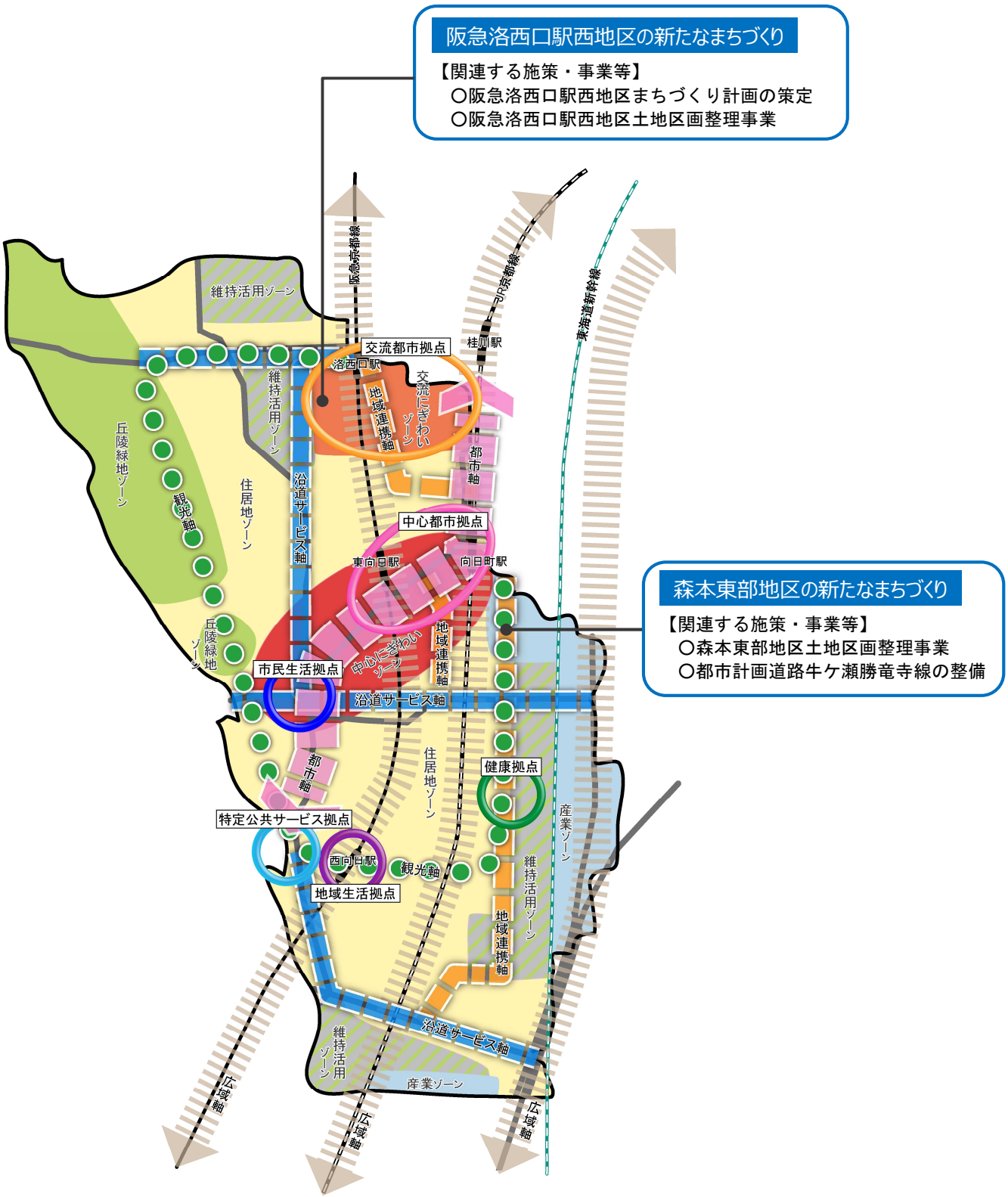
○都市計画道路牛ケ瀬勝竜寺線の整備（京都市境～都市計画道路伏見向日町線）

（２）阪急洛西口駅西地区の新たなまちづくり

阪急洛西口駅西地区については、土地区画整理事業による道路、公園緑地などの都市基盤の整備や地区計画による宿泊・商業・業務施設等の立地誘導など計画的なまちづくりを進め、鉄道駅に隣接する地域特性を活かした新たなにぎわい拠点の形成を図ります。

【関連する施策・事業等】

○阪急洛西口駅西地区まちづくり計画の策定

○阪急洛西口駅西地区土地区画整理事業

【関連する施策・事業等の位置図】